

救急科

済生会横浜市東部病院の救急科の歴史は、済生会神奈川県病院交通救急センターの設立までさかのぼることができます。昭和 40 年に設立された交通救急センターは日本医科大学や大阪大学と共に日本の救急医学のルーツと言われ、日本の救急医療、特に重症外傷診療の歴史とともに歩んできました。平成 19 年の東部病院開院後は東部病院救命救急センターがその機能と歴史を引き継いでいます。現在、東部病院救急科も以下の 3 つの部門に代表されるような、日本でも屈指のレベルを誇る、先進的救急部門として活動しています。

●救急・外傷外科(Acute Care Surgery)部門

重症外傷患者の診療に加えて、急性腹症などの内因性緊急手術も担っていて、外科と連携しながら、救急科で日常的（年間約 500 件）に緊急手術をしています。このような外傷と救急を組み合わせた外来部門は、今世紀になって米国で Acute Care Surgery という新しい概念として生まれたもので、最近では日本でも注目されるようになりました。東部病院はいち早くこの概念のもとに部門を立ち上げ、平成 22 年に第 2 回日本 Acute Care Surgery 研究会を主催するなど、日本を牽引する部門として存在感を発揮しています。



ハイブリット手術室での開頭・TAE の同時手術



救急外来での緊急開胸・開腹手術

●救急放射線 IVR (Emergency Radiology, Interventional Radiology) 部門

救急科専門医、放射線科専門医、MR 専門医の資格を持つ指導医のもと、読影と緊急 IVR を担っています。救急と外科部門と同様、救急と放射線・画像部門の密接な協力関係も東部病院の特徴で、救急科の医師も術者として、多くの緊急 IVR に携わっています。DIRECT 研究会 (Diagnostic and Intervention Radiology in Emergency, Critical care, and Trauma: 救急医療における画像診断と IVR を考える会) の事務局として数多くのセミナーを主催するなど、東部病院はこの部門でも日本トップレベルとして注目されています。

●救急集中治療(Emergency & Critical Care)部門

救命救急センター病棟に入院したあらゆる重症患者の診療に当たります。救命救急センターに入院する年間 1,200 人の患者の 9 割以上で救急科が主科となり、PCPS、ECMO、血液浄化などの高度な集中治療も自科で担当しています。東部病院救命救急センターは平成 28 年から日本集中治療医学会専門医研修認定施設としても指定され、救急科専門医取得後の集中治療専門医取得も視野に入れながら研修を積むことが可能になりました。

他の病院にない、特筆すべき東部病院の特徴としては、平成 26 年に横浜市重症外傷センターに指定されたことです。これは米国の外傷センターのシステムを参考に作られた制度で、横浜市内の 9 ヶ所の救命救急センターのうち、重症外傷患者に対する緊急手術、IVR、集中治療を行うスタッフや体制が充実している 2 ヶ所のみ（横浜市立大学市民総合医療センターと東部病院）を重症外傷センターとして指定し、地域の重症外傷患者が集約されるようになりました。このように地域全体で取り組んでいる重症外傷センターのシステムは本邦ではまだ横浜市しかありません。その重症外傷センターに東部病院が指定されているということは、東部病院が通常の救命救急センターの機能にとどまらず、さらにその上を目指しているということを示しています。

災害医療にも積極的に活動しています。日本 DMAT 隊員に院内で 17 人が登録されていて、この数は神奈川県内で最も多い病院の一つです。東北・北関東豪雨、熊本地震でも DMAT 隊員を延べ 14 人派遣しています。



熊本地震へ出発する DMAT チーム



東京北医療センターDMAT とともに



DMAT チーム活動風景①



益城町保健福祉センターでの活動



DMAT チーム活動風景②

鶴見地区の消防署と一緒に災害訓練を行っています。



◇先輩からのメッセージ◇

当院救急科は外科、IVR、critical care の3つの軸を中心に、心肺停止やショック、急性腹症、重症外傷、熱傷などあらゆる疾患を受け入れています。救急外来に運ばれた重症症例は当科管理である救命救急センター病棟（ICU10床、HCU14床）に入院し、そのまま主治医として治療の中心に立ちます。熟練した熱い指導医のもと、集中治療はもちろん、手術や内視鏡治療、麻酔、IVRなど多岐にわたる分野を学ぶことができます。救急に興味がある方はもちろん、専攻科を迷っている方、救急を学んだ後に他科に専従しようと考えている方、当院で習得できる知識や手技は今後生きることは間違いのないと思います。救命困難と考えられた患者さんが元気に退院していく姿をみることができるのは、何ものにも代えがたいモチベーションです。ぜひ、一緒に東部病院で働きましょう！気軽に見学にいらしてください。いつでもお待ちしております。

（専攻医3年目）

2016年の診療実績（2016.4月～2017.3月）

救急患者数	24,305名
救急車受入件数	5,732名
救急入院患者数（救急外来受診後入院患者数）	5,571名
救命救急センター入院患者数（EICU/EHCU入院）	1,249名
心肺停止（CPA）患者数	305名

専門医

日本救急医学会救急科専門医 8名、同指導医 4名

日本外科学会外科専門医 7名、同指導医 2名

日本外傷学会専門医 4名

日本消化器外科学会専門医 2名、同指導医 1名

日本医学放射線学会放射線科専門医 1名

日本IVR学会専門医 2名

日本麻酔科学会麻酔科専門医 1名

日本DMAT隊員 5名（他に外科1名、集中治療科2名、看護師6名、業務調整員3名）

連携施設名

当院が基幹施設として：済生会神奈川県病院、平塚市民病院

当院が連携施設として：慶應義塾大学病院